

あなたと 博物館

No. 246
2023.12.15

特集：松本市立博物館開館記念第2弾特別展
「至極の大衆文化 浮世絵 ー酒井コレクションー」



「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」 日本浮世絵博物館所蔵



Matsumoto City Museum

松本市立博物館開館記念第2弾特別展 「至極の大衆文化 浮世絵 —酒井コレクション—」

2024.
1.13sat
▼
3.3sun

【前期】
2024.1.13 ~ 2.4
【後期】
2024.2.10 ~ 3.3

国内外から高い評価を受け、現代では芸術作品として多くの人を魅了している浮世絵。しかし、江戸時代には庶民から広く親しまれる大衆文化でした。

浮世絵が誕生した江戸時代、その主たる購買層は庶民でした。そのため、庶民にとって身近で親しみやすく、可愛らしさや面白さも含んだ多様な作品が生み出されていきました。そんな浮世絵を制作していたのも彫師や摺師といった一般の職人たちでした。浮世絵はまさに庶民が作り、庶民が育てあげた「大衆文化」であったといえます。

本展では、日本三大コレクションの一つといわれる日本浮世絵博物館所蔵の「酒井コレクション」を展示します。江戸時代の庶民が作り上げた「至極の大衆文化」浮世絵の素晴らしさを感じられる作品ばかりです。ここでは、展示作品の一部を紹介します。

(※以下、全て日本浮世絵博物館所蔵作品)

テーマ1 「浮世絵の名品」

名品ばかりの酒井コレクション。その中でも特に選りすぐりの名品を紹介します。

資料保護のため展示替えを行います。各作品の展示予定期間を参考にしてください。

絵師が直筆で描いた作品である
「肉筆画」も展示します！



東洲斎写楽「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」
【後期前半2週間程度展示】



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」
【前期前半2週間程度展示】



歌川国芳「桜下衝立に倚る美人図」
【後期後半2週間程度展示】



喜多川歌麿「福祿寿三星図」
【前期後半2週間程度展示】

テーマ2 「江戸の風俗」

浮世絵には、庶民の生活やグルメ、娯楽といった江戸時代の風俗が描かれています。

そんな当時の風俗が描かれた作品を紹介します。



歌川広重「東都名所高輪廿六夜待遊興之図」【前期展示】



歌川国芳「流行猫の曲鞠」
【前期展示】

テーマ3 「さまざまな生き物」

庶民に身近な動物が描かれた作品も多く残されています。特に猫は、見た目の可愛らしさだけではなく、食料を盗んだり病を運んだりする鼠を駆除する頼もしい動物であったため大人気でした。さらに、擬人化されたユーモラスな姿の動物も描かれ、人々に好まれました。

テーマ4 「浮世絵で遊ぶ」

鑑賞するだけではなく、“遊ぶ”浮世絵もありました。「玩具絵」という切って組み立てて楽しめるものや、「寄せ絵」という、多くの人や動物が集まって別のものを形作る手法の作品も存在しました。これらの浮世絵は、発想が奇抜で洒落れており、楽しいものばかりであったため、庶民に親しまれました。



歌川国芳「みかけハチハゐがとんだいゝ人だ」
【寄せ絵/前期展示】

ここで紹介した作品はほんの一部であり、面白くて親しみやすい作品をたくさん展示する予定です。ぜひお越しいただき、実物をご覧ください！

(松本市立博物館 学芸員／本間 花梨)



新博物館開館記念式典
～オープングレセプション～



松本蟻ヶ崎高校書道部
書道パフォーマンス

新松本市立博物館 オープニングイベント報告

10月7日にグランドオープンを迎えた松本市立博物館。前日6日には開館記念式典も催され、新たな博物館の門出が祝われました。開館記念行事として、数日にわたり様々なイベントが実施され、地元の学生や伝統芸能を担う方々によって博物館の内外が大いに盛り上がりました。

今回は、10月前半に開催されたオープニングイベントの一部を紹介します。

ーイベント一覧ー

10月6日(金)

◆新博物館開館記念式典

10月7日(土)

◆松本蟻ヶ崎高校書道部 書道パフォーマンス

◆入山辺大和合神社 木やり

入山辺宮原神社 木やり

入山辺橋倉諏訪神社 木やり

◆島立沙田神社 木やり・ドウツキ唄

◆エクセラン高校美術科 ライブ黒板アート

10月8日(日)

◆神田千鹿頭神社 木やり・長持ち行列

◆里山辺須々岐水神社 木やり

◆奈川獅子 獅子舞

◆松本深志高校ダブルダッチ部
“JOKER” パフォーマンス

10月9日(月)

◆梓川大宮熱田神社 獅子舞

10月14日(土)

◆まつもと博覧会講演会 獅子舞
「啓蒙する松本博覧会」

10月15日(日)

◆松本蟻ヶ崎高校ダンス部
パフォーマンス



入山辺大和合神社
入山辺宮原神社
入山辺橋倉諏訪神社
木やり



島立沙田神社
木やり・ドウツキ唄



神田千鹿頭神社
木やり・長持ち行列



里山辺須々岐水神社
木やり



松本蟻ヶ崎高校ダンス部
パフォーマンス



松本深志高校ダブルダッチ部“JOKER”
パフォーマンス



奈川獅子
獅子舞



梓川大宮熱田神社
獅子舞



まつもと博覧会講演会
「啓蒙する松本博覧会」



エクセラン高校美術科
ライブ黒板アート

陸地測量部の歴史を刻んだ時計

1 陸軍陸地測量部の歴史を刻む

今回ご紹介する資料は、かつて陸軍陸地測量部が所有していた時計です。陸地測量部は現在の国土地理院の前身の一つである国家機関で、国内外の地理・地形の測量や管理などを担っていました。1888年(明治21)、日本陸軍参謀本部の一部局から独立する形で設置されて以来、戦前までの半世紀以上の間、日本の地図データ作成などを支え続けました。

この時計は、皇居西堀の向いの旧東京市麴町区三宅坂(現・東京都千代田区永田町)の高台にあった、陸地測量部三宅坂庁舎の正面玄関に置かれ、戦前の陸地測量部の活動とともに、歴史を刻みました。

2 戦災を免れる

1945年(昭和20)5月25日の空襲によって陸地測量部三宅坂庁舎は焼失してしまいましたが、時計は空襲の前に東筑摩郡波田村(現・松本市)の波田国民学校に疎開していたため、戦災の難を逃れることができました。当時、陸地測量部は二次疎開として、波田村のほかにも、南安曇郡明盛村(現・安曇野市)、同郡安曇村・梓村(いずれも現・松本市)、東筑摩郡塩尻町(現・塩尻市)の国民学校に分散疎開していたようです。

上述のとおり、この時計は戦災を免れたたいへん貴重な資料であり、平和学習資料としても後世に継承していくべき時計であるといえます。

陸地測量部の解体後、半世紀以上に渡って波田国民学校(昭和22年、波田小学校へ改称)にて保管されていましたが、2002年(平成14)9月1日の松本市時計博物館開館を機に、現在まで同館の2階常設展示室で展示されています。

3 現代の時計に勝るとも劣らない高精度な時計

この時計は、19世紀にイギリスのラッセル社で製造されたもので、調時機構^(注1)の振り子に水銀を用いた「水銀振り子置時計」です。1721年にイギリス人のジョージ・グラハムによって発明されたといわれています。当時製造されていた振り子時計の多くは、木製や真鍮製の振り子を使っていましたが、それらは温度変化に応じて振り子の長さが変わり、時刻に若干のずれが生じるという欠点がありました。

一方で、この時計は水銀振り子を用い、高温下では水銀が上がり、低温下では水銀が下がり、振り子の長



水銀振り子置時計/19世紀/イギリス

短分を相殺し、時刻のずれを限りなく補正した高精度な時計です。また、振り子を吊るす振り竿の長さを1mにすることで、片道1秒で振れるようになっており、現代の時計に勝るとも劣らない精度を誇っています。

戦前・戦後の歴史を現在まで刻み続ける歴史的な時計に会いに、是非時計博物館にご来館ください。

(松本市時計博物館 学芸員/小林 駿)

注1

時計の針が一定の速さで規則正しく動くように動力の伝わり方を調節するもの。振り子のほかに、棒テンプ、テンプ輪、ヒゲゼンマイがある。

戸田家の戦備え—戸田家臣関連資料—

1 松本藩と戸田家

松本藩は、江戸時代に大名が支配した領地の一つで、歴代で6家23人の大名（藩主）たちが治めてきました。松本藩主をつとめた大名家の一つに「戸田家」という家があります。戸田家は元和3年（1617）～寛永10年（1633）の間松本藩主に任じられ、数度の国替えののち享保10年（1725）に再び松本に入封し、以後明治2年（1869）の版籍奉還まで松本を治めた、松本藩で最も長く藩主をつとめた家です。

この藩主戸田家のもとには、それを支える家臣団の存在がありました。戸田家は国替え先などの様々な土地で家臣を登用し、諸士（上級の武士）・徒士（中級の武士）・足軽（下級の武士）あわせて1,200人ほどの武士を召し抱えていたと考えられています。

2 戸田家臣たちの資料

松本市立博物館では、藩主戸田家に仕えた家臣たちにかかわる資料を多く所蔵しています。今回は、そのうち家臣たちの戦備えがうかがえる武具を紹介します。

(1) 御貸し具足



御貸し具足

戸田家では、徒士・足軽身分の武士に藩から「御貸し具足」と呼ばれる揃いの胴が支給されました。正面には戸田家の家紋である「はなれ六つ星」があらわれています。これらは普段、城でまとめて保管・管理されていたと考えられます。

下級武士に対して大名家が揃いの具足を貸し出す行為は江戸時代以降に見られます。御貸し具足は各大名家独自の「御家流甲冑」を流行させ、家臣団の団結心の形成を促したと考えられます。

松本藩戸田家の武具や軍隊編成などを記した史料『御



『御家閑習』

家閑習』にも、御貸し具足の絵図が描かれていますが、身分や所属によって配色などが異なっていました。

(2) 甲冑



堀内家の甲冑

徒士・足軽には藩から胴が支給されるのに対し、上級武士である諸士は甲冑一式を自前で揃える必要がありました。甲冑の細かなデザインは各諸士によって異なります。そのため、兜に揃いの前立てを着用することで、軍団としてのまとまりを保っていたと考えられます。

『御家閑習』によると、戸田家に仕える諸士は金色・軍配型の前立てに自身の姓名を書いたもの



『御家閑習』(部分)

を兜につけることが定められていたようです。

3 戦に備えた家臣たち

武具の管理に限らず、戸田家臣たちは武術訓練や兵法の勉強も怠ることはありませんでした。松本城の周りに広がる武家地には、剣術や馬術・弓術などの様々な道場・稽古場があり、藩校「崇教館」では和漢学や数学、礼儀作法などのほか、「七書」「兵要録」「大要録」といった兵学も学ばれました。

戦が日常でなくなった江戸時代、武士たちは政治・行政を担う役人である一方、いつ起こるか分からない戦闘に備える兵士としての一面も兼ね備えていました。

藩主戸田家やその家臣たちも同様に、日頃から松本藩統治にかかわる様々な業務をこなしながら、戦への備えも欠かさなかったことが資料からうかがえます。

(松本市立博物館 学芸員/吉澤 せり子)

参考文献

『松本市史』第2巻歴史編II近世（1995年、松本市）

長屋隆幸『近世の軍事・軍団と郷土たち』（2015年、清文堂）

樋口隆晴・渡辺信吾『図解 武器と甲冑』（2020年、ワン・パブリッシング）

展示スケジュール

詳細はホームページへ! <https://www.matsu-haku.com/>



館名称	2024年1月	2月	3月
松本市立博物館	■松本市立博物館開館記念第2弾特別展「至極の大衆文化 浮世絵 一酒井コレクション」 1/13(土)~3/3(日)		

松本市立博物館から ☎0263-32-0133

松本市立博物館開館記念第2弾特別展「至極の大衆文化 浮世絵 一酒井コレクション」

会期 令和6年1月13日(土)~3月3日(日)
(前期)令和6年1月13日(土)~2月4日(日)
(後期)令和6年2月10日(土)~3月3日(日)
午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

会場 松本市立博物館 2階特別展示室

閉室日 毎週火曜日
展示替え期間:2月5日(月)~2月9日(金)

料金 高校生以下…無料
特別展単独券…大人1,000円 大学生600円
常設展とのセット券…大人1,200円 大学生800円
「日本浮世絵博物館」と「松本市立博物館」の両館で、観覧料の相互割引を実施します。*大学生以上のみ対象、100円割引

窪田空穂記念館から ☎0263-48-3440

「空穂生家子ども教室 百人一首であそぼう」

百人一首に親しみ、楽しみながら、かるた取りの上達方法を学びます。この教室で「とり札」をたくさん取れるようになりませんか。ぜひご参加ください。

日時 第1回…12月16日(土)
第2回…1月13日(土)
午後1時~3時

会場 窪田空穂生家(窪田空穂記念館向かい)

料金 無料

問合せ 窪田空穂記念館まで

時計博物館から ☎0263-36-0969

あめ市パネル展示「あめ市のいまむかし」

本展はパネル資料を中心に、新春の風物詩である松本あめ市の歴史を紹介するものです。ぜひ、松本市立博物館の常設展示「テーマ2 にぎわう商都」のコーナーと合わせてご覧ください。

会期 令和6年1月4日(木)~1月28日(日)
午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
毎週火曜日閉室

会場 松本市立博物館 3階常設展示室前の広場

料金 無料(ただし常設展示室の観覧は有料)

問合せ 時計博物館まで

松本市時計博物館の臨時休館について

空調設備工事に伴い、下記の期間臨時休館します。ご理解の程よろしくお願ひいたします。

臨時休館期間 令和6年1月10日(水)~2月29日(木)

問合せ 時計博物館まで

松本市立博物館開館記念第2弾特別展「至極の大衆文化 浮世絵 一酒井コレクション」関連事業

「日本浮世絵博物館ミュージアムショップ まつもと伊勢町店」連携

松本市立博物館の特別展チケットを提示すると、ポストカードをプレゼントします。まつもと伊勢町店住所: 中央2丁目3-25

ギャラリートーク

日時 会期中土曜日の午後2時~

料金 特別展観覧料

講演会「浮世絵の魅力と楽しみ方」

日時 令和6年1月21日(日)
午後1時30分~3時

料金 無料

会場 市立博物館 講堂

講師 日本浮世絵博物館学芸員 五味あずさ氏

キャンドルナイト

日時 令和6年1月26日(金)午後5時~8時

料金 無料

会場 市立博物館 ポケットパーク

和紙の「行燈」作り講座

日時 令和6年1月20日(土)午前9時~正午

料金 500円

会場 市立博物館 会議室2、講堂

講師 松本市地球温暖化防止市民ネットワーク

江戸のおもちゃ作り講座

日時 令和6年2月4日(日)
午後1時30分~4時30分

料金 無料

会場 市立博物館 会議室2、講堂

講師 松本市地球温暖化防止市民ネットワーク

浮世絵信州名所めぐり旅

日時 令和6年2月25日(日)
午前9時~午後4時30分

料金 1,000円(昼食代は各自ご用意ください。)

集合場所 市立博物館 ポケットパーク

永谷園のお茶漬け浮世絵カード展示

期間 浮世絵展 開催期間中

会場 市立博物館 図書情報室

浮世絵で遊ぼう!

日時 令和6年1月14日(日)午後2時~4時

料金 500円

会場 松本市立博物館 講堂

浮世絵の摺り体験講座

日時 令和6年2月10日(土)
午後1時30分~4時30分
令和6年2月11日(日)
午前9時~正午、午後1時30分~4時30分
令和6年2月12日(月・祝)
午前9時~正午、午後12時45分~3時10分

料金 2,000円

会場 市立博物館 講堂、交流学習室

講師 匠木版画工房ふれあい館 朝香元晴氏

浮世絵の絵本を作ろう!

日時 令和6年1月28日(日)
午前9時~11時

料金 500円

会場 市立博物館 交流学習室

講師 絵本作家 まつした さゆり氏

浮世絵メイク講座

期間 令和6年1月28日(日)、2月4日(日)

料金 無料

場所・講師 和装いろは(大手4-1 ナワテ通り商店街)

親子で楽しむ版画講座

日時 令和6年2月18日(日)午後2時~4時

料金 500円

会場 市立博物館 交流学習室

講師 版画家 田嶋 健氏

各事業の詳細はHPよりご覧ください。
※要申込の事業があります



あとがき

松本市立博物館がいよいよ開館いたしました。開館初日は、博物館入口に早朝から開館を待つ方々が並び、たくさんの方々に期待されていたことを実感しました。大勢の人でにぎわう館内の様子を見ると、建物に命が吹き込まれたかのような様子。新博物館がたくさんの方々の学びと憩いの場となるよう、職員一同、一層業務に力を入れて参ります。(松本市立博物館 吉澤せり子)

あなたと博物館 No.246

発行年月日/令和5年(2023)12月15日
編集・発行/松本市立博物館
〒390-0874 松本市大手3丁目2番21号
Tel.0263-32-0133
URL: <https://www.matsu-haku.com/>
e-mail: mcmuse@city.matsumoto.lg.jp
印刷 川越印刷株式会社



松本市立博物館
Matsumoto City Museum